

1 目指す学校

スクール・ミッション

建学の精神である「清純・明朗・強健」の校訓のもと、「自己実現のために自ら学び自ら考え行動する生徒の育成を図るとともに、人権尊重の精神を涵養する」を教育目標とし、「キャリア教育の深沢」として、一層進展させたキャリア教育などの教育活動を通じて生徒一人一人に社会貢献の志を育み、真に社会人として自立した人材を育成します。

スクール・ポリシー

(1) グラデュエーション・ポリシー【生徒育成方針】

基礎・基本を身に付けさせ、主体的に考えさせる授業を行い、学校活動の全てがキャリア教育と理解する。また、規律ある生活指導を行い、人権意識を高めていく。

(2) カリキュラム・ポリシー【教育課程編成・実施方針】

習熟度別授業、少人数編授業の活用、ICT機器等の活用で言語活動の充実を通し、自主的に学ぶ環境を維持する。また、週末の課題、講習、補修を継続的に行い高い目標に立った進路実現につなげていく。

(3) アドミッション・ポリシー【生徒募集方針】

教育目標を理解し、本校を志望する目的が明確である生徒

自己実現に向けて自主的に考え、自発的・積極的に努力する生徒

礼儀やマナーを守り、身だしなみを整え、日々の授業を大切にし、意欲的に取り組む生徒

様々な検定や資格を積極的に取得しようと考えている生徒

特別活動、部活動、行事に積極的に取り組み入学後も継続して取り組む意思のある生徒

2 中期的目標とその方策

(1) 学習指導

豊かで高次の学びを目指し、創造的・数的・探究的な授業実践に取り組み、生徒一人ひとりが自ら学び続ける力を引き出す。

(2) 進路指導

系統的なキャリア教育を推進し、進路意識の啓発を図るとともに、高い目標に立った進路希望を実現する。

(3) 生活指導

豊かな学びと健やかな成長を支えるため、一人ひとりの生徒理解に努め、自分らしく輝ける生徒を育成する。

(4) 特別活動

学校行事や部活動等協働・自治活動を通して、主体性、社会性を育むよう生徒を支援し、特別活動を充実させる。

(5) 学校経営

全教職員が組織的に学校運営に参画し、改編に向けて柔軟かつ迅速に対応していきながら安定した学校運営を目指す。

(6) 地域等連携

地域社会に求められる学校として教育活動を行い、地域連携を強く深め、地元 roots に根ざしていく。

(7) 募集・広報

学ぶ意欲があり、挑戦したい生徒が安心かつ積極的に活動できる学校教育内容を発信し続ける。

(8) 防災・安全

安全環境の確保、訓練の確実な実施、危機管理意識の向上、自助・共助に備える。

(9) 教務部

適切な教育課程の実施のため、学校教育活動の調整及び学校運営の進行管理を行う。

(10) 研究開発部

受入環境充実校として関係する項目全てを中心となって進め実行に移す。

(11) 進路指導部

より高次の進路実現に向けた系統立てた進路指導を実施する。

(12) 生徒指導部

生徒指導、学校行事及び放課後活動等を各分掌と調整しながら推進させる。

(13) 総務部

募集対策、式典、他分掌支援等を行う。

3 今年度の取組目標

(1) 学習指導

ア 対話や協働を通じて、問いを立て、解を模索させ、数的思考力を高め、教科のおもしろさ、学びの楽しさを追求

イ 学びの土台である基礎の徹底理解、デジタル及びログの活用、発表及び振り返りの場の強化

ウ 個別最適かつ多様な学びを実践

エ 生徒理解に努め学習状況を把握し、適切な学習環境設定及び資格取得支援を実施

オ 年間授業計画に基づき計画的な授業実施、数値を使った論理的思考法の実践、主体的な学習意欲の喚起、可能性及び能力の最大限の伸長

(2) 進路指導

ア 3年間を見通した系統的なキャリア教育計画の実践、社会的・職業的自立意識の醸成

イ 適時・適切に進路情報を提供

ウ 挑戦を支援し、高次の進路希望を実現するため、生徒一人ひとりの進路活動の進行管理徹底

(3) 生活指導

ア 健康かつ安全な学校生活をするための環境整備及び生徒の自己管理能力の育成

イ お互いの人権を尊重し、他者を思いやる心の育成、自主自律の精神を育成

ウ 時間管理、授業規律、協働活動を推進

エ 特別支援教育への理解を深め、組織的な教育相談体制を構築

(4) 特別活動

- ア 学校行事、委員会、部活動等が生徒主体の活動、挑戦の場となるように工夫・改善・支援を実施
- イ 協働・集団活動を通じた社会性の育成
- ウ 次代を担う人材として、活気ある学校生活の場となるような支援の実施

(5) 学校経営

- ア 新たな受入環境充実校として校内環境整備に努め、生徒の学びに対する高次の挑戦を支援し、教職員自らも成長する組織体となるような仕組みを構築
- イ DX化のより一層の推進
- ウ 教職員が率先してマインドチェンジし、生徒の学習及び学校生活を支援
- エ 未来志向の組織的な学校運営を実施
- オ 教育公務員としての高い使命感・倫理観をもち、服務規律を遵守するとともに、協働意識を向上させ、職場環境のウェルビーイングやライフ・ワーク・バランスを高めていく適切な業務遂行
- カ 経営企画室における業務の適正化を図り、合理的かつ円滑な執行管理

(6) 地域等連携

- ア 外部専門家及び地域等との連携による生徒の学びを支援
- イ 地域等との交流や連携、公開講座等により社会とのかかわりや社会課題を理解
- ウ 地域とともに自他の生命尊重を基盤とした生徒の健全育成推進

(7) 募集・広報

- ア 本校の学びを周知するため模擬授業として小中学校にて実施
- イ 生徒にとってより充実した学校生活となるよう教育活動を実践
- ウ 教育活動の様子を中学生やその保護者等に伝わるように、丁寧かつ速報性を意識した広報活動を実施

(8) 防災・安全

- ア 安全管理、危機管理の徹底
- イ 安全管理、危機管理に対する意識の向上
- ウ 自助・共助の精神育成、訓練の実施

(9) 教務部

- ア 適切な教育課程の実施のため、学校運営の進行管理の徹底
- イ 生徒の安定した学校生活を支えるための調整
- ウ 研究開発部と協力して新たな教育課程の進行管理

(10) 研究開発部

- ア 指定事業及び教育課程の調整
- イ 生徒が安心して登校し、学びたくなる授業を実施している学校を目指した学校生活内容を検討

(11) 進路指導部

- ア 3年間を見通した系統的なキャリア教育計画を実施
- イ 探究活動と連携した進路活動の検討及び実施

(12) 生徒指導部

- ア 生徒活動を支える生活指導の実施
- イ 授業規律指導、教室整備の徹底
- ウ 防災、美化活動の推進
- エ 放課後活動の整備

(13) 総務部

- ア データ分析に基づいた業務計画を作成
- イ 募集・広報活動を適時適切に実施
- ウ 執務室等の環境改善及び整備の実施

4 今年度の取組方策

(1) 学習指導

- ・ 個習時間で基礎知識を定着させ問いを立てる力を高め、協習時間を通じて解を模索し合い、言語能力、哲学的・論理的・数的思考力を高める。
- ・ 教材のデジタル化、手書きでの学習創作活動、まとめ・発表・ログを活用して強みを強化する。
- ・ 体験的・実験的な取組みで五感を活用させる。
- ・ AI や学習アプリを用いた自学自習を支援する。
- ・ 面談情報及び模試・考査等のデータ分析に基づいた教科指導、資格取得の支援、外部連携による学習支援を実施する。
- ・ 年間授業計画に基づき計画的、体系的かつ発展的な学習を展開し授業改善を年度内で実施する。
- ・ 多様な学びの実践及び教材ストックに向けて、相互授業見学の実施及び研修の全員参加、授業評価結果の活用、外部専門家との連携を行う。

主体的な学習への取組み評価 90%以上

DX 活用授業 100%

授業満足度 90%以上

国際教育活動参加率 80%以上

コンテスト等イベント参加 3 回以上

週末自宅学習時間 2 時間以上 80%以上

・ 級以上の資格取得者 30%以上

多様な学びの実践及び授業教材ストック全教科実施

(2) 進路指導

- ・ 将来をデザインさせ、社会を良くしていく行動ができるように、学ぶ努力を継続させ、組織的にキャリア教育を実施する。
- ・ 模試や各種データを活用し、生徒とともに分析を行い、高次の進路の実現に向けた指導を行う。
- ・ 学校外での交流活動を促進させ、インターンシップ、ボランティア等、生徒が自ら選択し自主的に活動できるように環境整備する。
- ・ 国際理解教育の推進、関連事業の参加、資格取得指導等を強化しグローバル教育を充実する。

進路決定率 100%

進路指導満足度 90%以上

インターンシップ及びボランティア活動参加率 90%

学校外活動参加率 50%以上

グローバル教育満足度 80%以上

(3) 生活指導

- ・ 時代や状況の変化に柔軟かつ迅速に対応する。
- ・ 教育相談を適切に実施し、外部専門家と連携しながら高校教育を学ぶのに最適な学習環境を整える。
- ・ 充実した授業展開のため授業規律を徹底する。
- ・ デジタルを活用して学校生活を支援する。
- ・ プロアクティブな生活指導を行い、SOSの出し方教育、いじめの未然防止に努め、早期発見・早期対応は丁寧、慎重、迅速に行う。
- ・ 自立支援チーム継続派遣校として、スクールカウンセラーやユースソーシャルワーカーと連携して生徒を支援し、中途退学の防止を図る。

学校生活満足度 90%以上

外部専門家活用満足度 90%以上

コンディションレポートの通年実施

専門家と連携したケース会議月1回以上

中途退学者数 10名以下

(4) 特別活動

- ・ 生徒主体の異学年活動の充実に向けて支援を行い、生徒会や委員会活動等の活発化を目指す。
- ・ 学校行事や部活動等を通じた活動、研究、挑戦の場を整え、支援し、主体性、社会性を育てる。
- ・ 校内美化の推進、日本の伝統文化の精神の涵養及び国際理解をさらに促進する。

部活動等加入率 70%以上

行事参加率 90%以上

生徒会活動満足度 80%以上

(5) 学校経営

- ・ 企画調整会議及び主幹会議、教科主任会を中心に進行管理を行い、組織的な情報共有、複数協働業務遂行と点検を徹底し、学年を支えつつ迅速かつ安定した改革型学校運営をスピーディーに行う。
- ・ P Tを設置し、本校の教育活動、校風、特色、強みを改めて言語化・可視化し、学校としての魅力を整理するとともに、「選ばれる学校」「誇れる学校」としての価値向上を図る。
- ・ 適切な生徒対応、服務規律の厳正・徹底、情報資産の厳密な管理、情報の共有化と会議の効率化、協働体制の拡充、勤務体制の整備、産業医等専門家による面談を実施する。
- ・ デジタル技術の積極活用等ハイブリッドな学校運営及び校内業務遂行に移行する。
- ・ 適切かつ迅速な業務執行、計画的な事務執行により学校運営を円滑にする。

教職員の在校時間の適切な管理 超過勤務時間前年度比 10%減

年間年休取得 15日以上

一般需用費センター執行割合 70%以上

(6) 地域等連携

- ・ 地域等と授業、生徒会、委員会、部活動の連携を促進し授業及びキャリア教育の内容を深める。
- ・ 学校運営連絡協議会による学校評価、PTAや同窓会との連携、奉仕活動・部活動を通じた近隣小学校・中学校及び地元商店街との交流、公開講座等を実施し、開かれた学校教育を行う。

地域等との連携評価 90%以上

キャリア教育満足度 90%以上

(7) 募集・広報

- ・ 小中学校への訪問及びその保護者生徒、塾を対象に学校説明会や模擬授業を実施し、本校の取組みが直接伝わるように広報活動を行う。
- ・ 進路実現につながる教育活動を実施する。
- ・ 特色ある教育活動をより一層充実させる。
- ・ 学校生活の様子や良さが小中学生にも伝わるように、日常の教育活動を積極的に発信する。

特色ある教育内容に対する満足度 90%以上

模擬授業 10 回以上

ホームページの更新 300 回以上

(8) 防災・安全

- ・ 防災訓練や避難訓練を通じた、防災に対する校内体制整備及び環境整備を行う。
- ・ 防災訓練やセーフティ教室等において、警察や消防署等との連携を一層強化し、生徒の防災・安全意識をより一層高める。

施設・設備の定期的な安全管理・点検の実施

安全意識の向上 90%以上

(9) 教務部

- ・ 安定した学校運営を行うため、DX 化をより一層推進し、企画調整会議を中心に事前の準備段階から進行管理を行い、点検確認を徹底の上、各分掌と情報共有を密に行う。
- ・ 成績に関する調整、教務管理を徹底する。
- ・ 業務マニュアル、アサインメントを改善する。
- ・ 教育課程の進行管理を随時行う。

(10) 研究開発部

- ・ 教務部及び進路指導部と連携して、各種指定事業、教育課程の調整、進行管理を行う。
- ・ 校内環境整備を検討、推進させる。
- ・ 探究活動を教務部及び進路指導部と連携しながら進行管理する。

(11) 進路指導部

- ・ 学年進路担当と連携を密にした指導を実施し、より高次の進路実現を目指す。
- ・ 教科担当と連携し放課後学習支援を強化する。
- ・ 探究活動を教務部及び研究開発部と進行管理を徹底させ、より質の高い探究活動にする。

(12) 生徒指導部

- ・ 自主性を育て、考えさせる生徒指導を行う。

- ・ 授業規律指導を整理し、授業環境整備を行う。
- ・ 安心・安全な学校環境、防災意識の向上を図る。
- ・ 放課後活動の状況を分析し、多様な活動が効果的に行われるよう支援し、主体性を育てる。

部活動・同好会及びサークル・研究会等について、平日の放課後活動を希望する生徒一人当たりの活動日数、週3日以上

(13) 総務部

- ・ 儀式的行事の適切な進行管理を行う。
- ・ 随時広報情報を更新し新鮮な情報を発信する。
- ・ 受け手の立場を考えて視覚情報を充実させ、HP や学校案内、懸垂幕等の質を高める。
- ・ 執務室等の職場使用ルール等を整える。